

第5章 新型コロナウイルスワクチン接種

新型コロナウイルスワクチン接種は、予防接種法に基づく特例臨時接種として実施。市は、国方針を踏まえ、令和3年4月に会津若松市新型コロナウイルスワクチン接種実施計画を策定し、国県及び会津若松医師会等の関係機関と連携しながら実施した。

■特例臨時接種期間 令和3年2月17日から令和6年3月31日

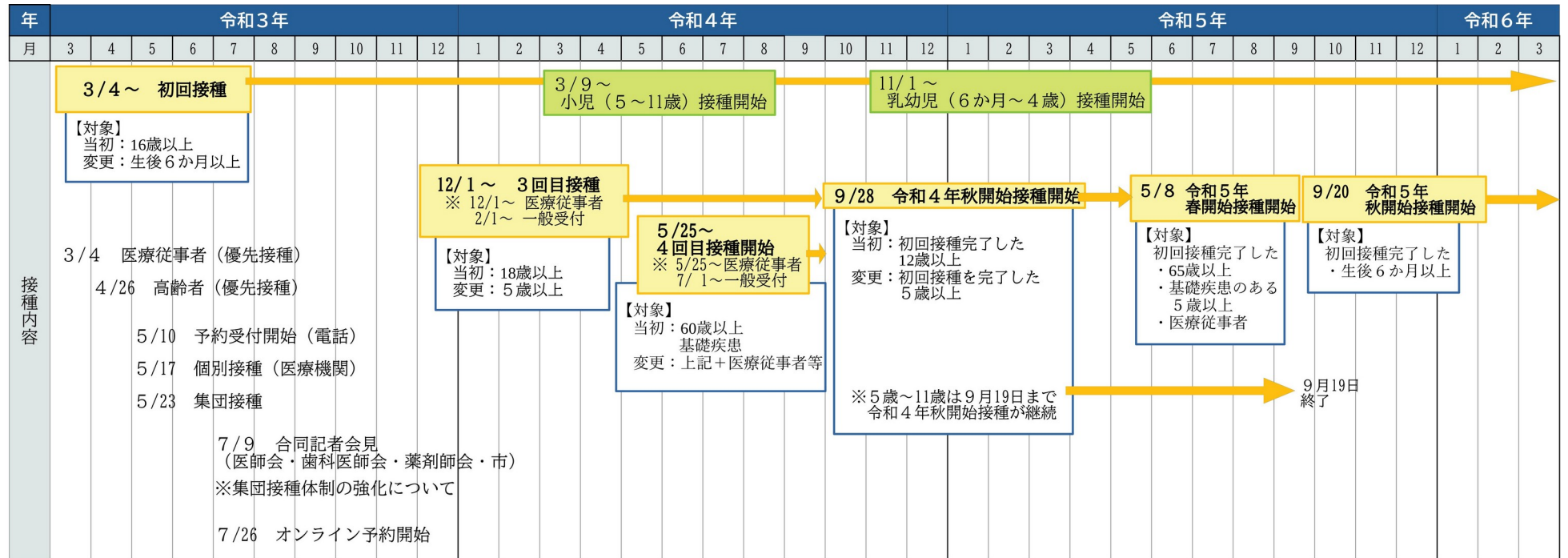
■組織体制

令和3年1月19日 新型コロナウイルスワクチン接種チーム設置（本部長：副市長）

4月1日 新型コロナウイルス感染症対策室設置（健康福祉部健康増進課の課内室）

令和6年3月31日 新型コロナウイルス感染症対策室廃止（予定）

■主な経過



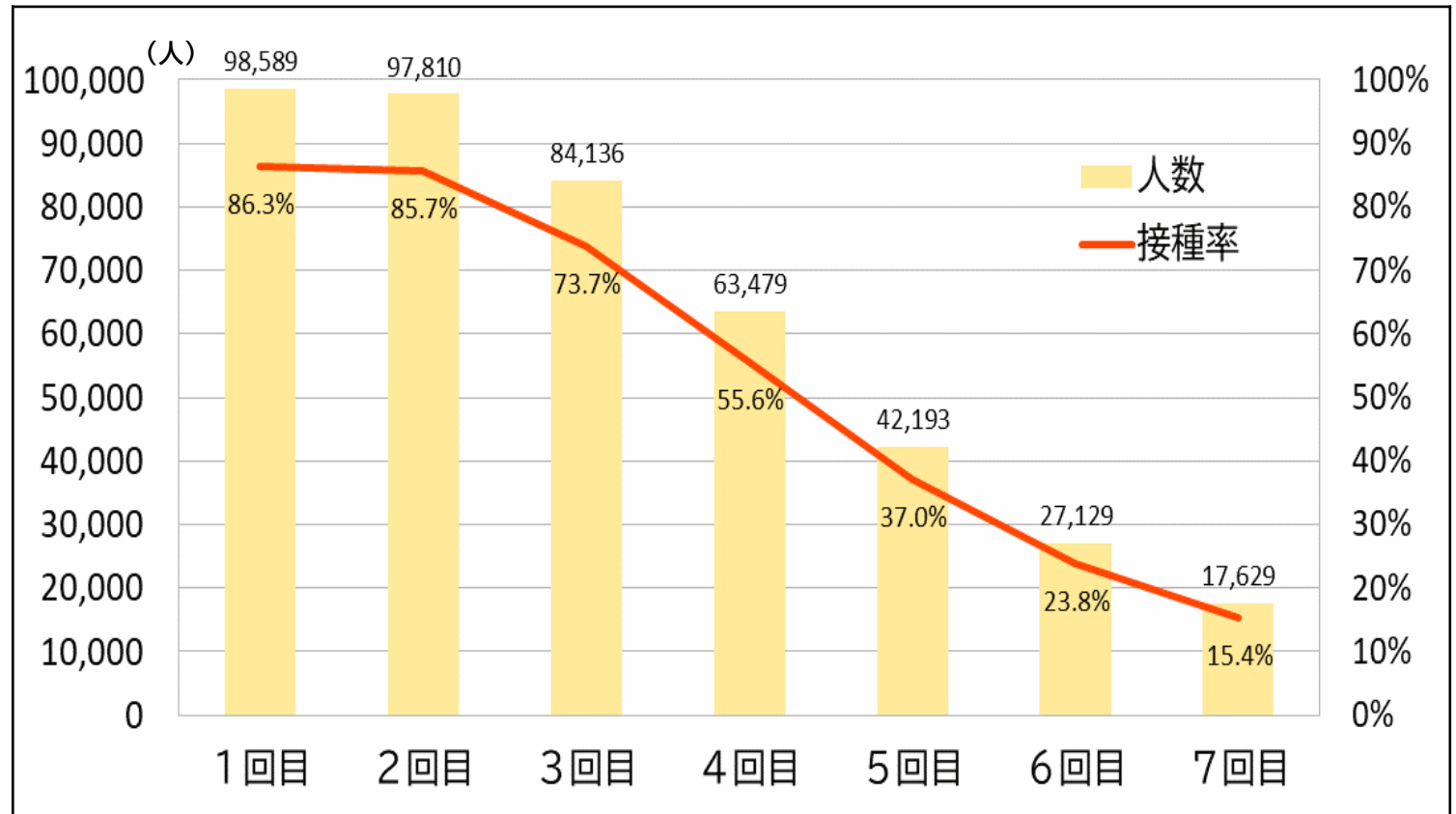
■接種回数（令和5年12月24日まで）

総接種回数 430,965回

接種回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
人数	98,589	97,810	84,136	63,479	42,193	27,129	17,629
接種率	86.3	85.7	73.7	55.6	37.0	23.8	15.4

※ 接種率算定基礎
令和5年1月1日人口

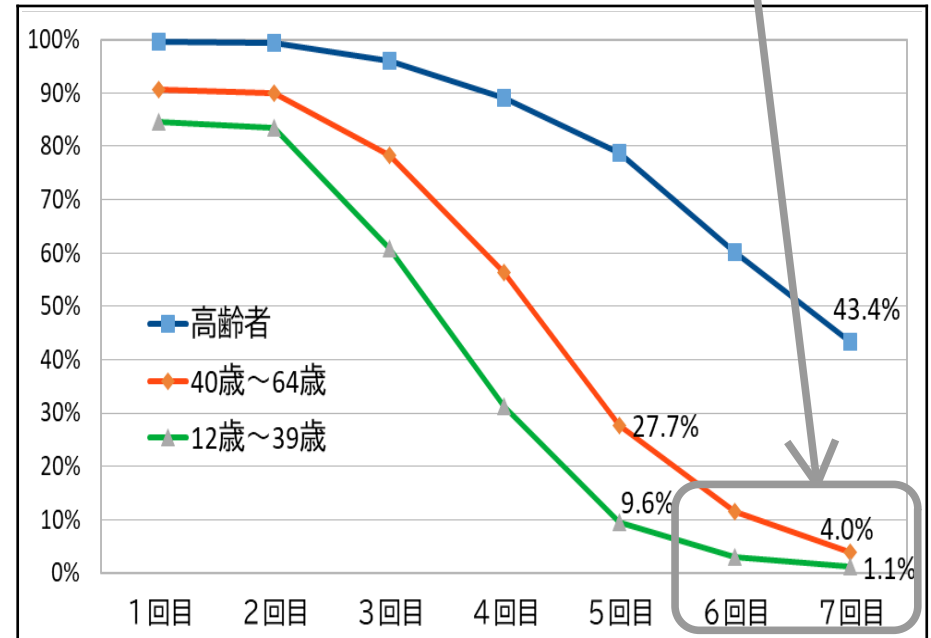
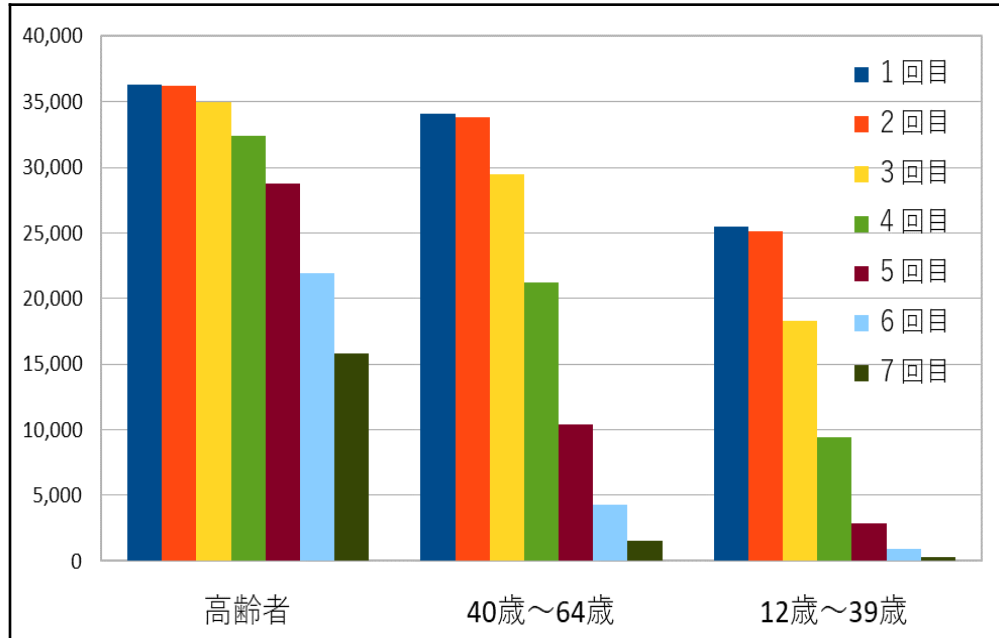
0～6か月	319
6か月～4歳	3,376
5～11歳	6,394
12～39歳	30,054
40～59歳	29,481
60～64歳	8,123
65歳以上	36,433
合計	114,180



■年代別接種回数

接種回数	高齢者		40歳～64歳		12歳～39歳	
	人数	接種率	人数	接種率	人数	接種率
1回目	36,293	99.6	34,060	90.6	25,439	84.6
2回目	36,188	99.3	33,849	90.0	25,082	83.5
3回目	34,984	96.0	29,466	78.4	18,275	60.8
4回目	32,414	89.0	21,212	56.4	9,398	31.3
5回目	28,724	78.8	10,429	27.7	2,888	9.6
6回目	21,910	60.1	4,291	11.4	928	3.1
7回目	15,802	43.4	1,494	4.0	333	1.1

※ 64歳以下の方については、最大で5回接種が可能
（6回目・7回目接種しているのは基礎疾患がある方や医療従事者のみ）



■その他接種データ

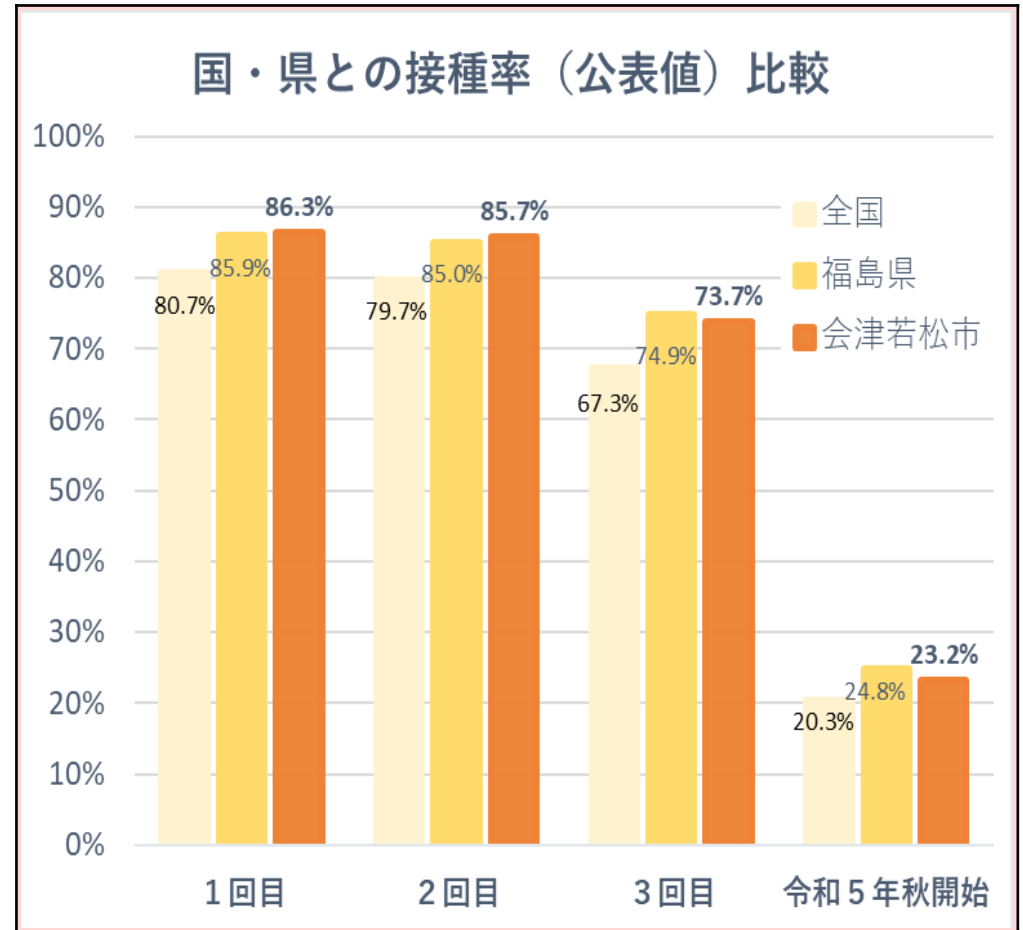
【会津若松市 小児及び乳幼児接種実績】

接種回数	小児接種		乳幼児接種	
	人数	接種率	人数	接種率
1回目	2,548	39.8	249	7.4
2回目	2,454	38.4	237	7.0
3回目	1,285	20.1	126	3.7
4回目	424	6.6	31	0.9
5回目	152	2.4	0	0
合計	6,863	—	643	—

ワクチン接種率については、福島県及び会津若松市は、全国と比較し上回っている。

【国・県との接種率（公表値）比較】

区域	接種率			
	1回目	2回目	3回目	令和5年秋開始接種
全国	80.7	79.7	67.3	20.3
福島県	85.9	85.0	74.9	24.8
会津若松市	86.3	85.7	73.7	23.2



■ワクチンの種類（本市における使用状況）

【従来型ワクチン】

製造	乳幼児		小児		12歳以上	
	初回接種	追加接種	初回接種	追加接種	初回接種	追加接種
ファイザー	R 4.11月開始 R 5.9月終了	—	R 4.3月開始 R 5.9月終了	R 4.9月開始 R 5.3月終了	R 3.3月開始（16歳以上） R 3.7月開始（12～15歳） R 5.9月終了	R 3.12月開始（18歳以上） R 4.4月開始（12～17歳） R 4.9月終了
モデルナ	—	—	—	—	R 3.5月開始（18歳以上） R 3.7月開始（12～17歳） R 4.9月終了	R 3.12月開始（18歳以上） R 4.4月開始（12～17歳） R 4.9月終了
武田 （ノババックス）	—	—	—	—	R 4.6月開始（18歳以上） R 4.7月開始（12～17歳） R 5.12月終了	R 4.6月開始（18歳以上） R 5.3月開始（12～17歳） R 5.12月終了

【オミクロン株対応ワクチン】

製造		乳幼児		小児		12歳以上	
		初回接種	追加接種	初回接種	追加接種	初回接種	追加接種
BA.1 対応型	ファイザー	—	—	—	—	R 5.8月開始 R 5.9月終了	R 4.9月開始 R 5.9月終了
	モデルナ	—	—	—	—	—	R 4.10月開始 R 5.9月終了
BA.4-5 対応型	ファイザー	—	—	R 5.8月開始 R 5.9月終了	R 5.3月開始 R 5.9月終了	R 5.8月開始 R 5.9月終了	R 4.10月開始 R 5.9月終了
	モデルナ	—	—	—	—	—	R 4.12月開始 R 5.9月終了
XBB 対応型	ファイザー	R 5.9月開始	R 5.9月開始	R 5.9月開始	R 5.9月開始	R 5.9月開始	R 5.9月開始
	モデルナ	—	—	—	—	—	R 5.10月開始
	第一三共	—	—	—	—	—	R 6.1月開始

■接種回数（接種体制別）

- ・個別接種 協力医療機関：56 機関 接種回数 353,617 回
- ・集団接種 実施回数：139 回 接種回数 65,205 回

【集団接種実績】

年度	実施会場数	実施回数	接種回数	会場名（あいうえお順）
令和3年度	11	88	51,145	あいづ総合体育館／会津大学／會津風雅堂／会津若松医師会館／ 大戸小学校体育館／河東農村環境改善センター／ 北会津農村環境改善センター／旧会津学鳳高校体育館／文化センター／ 湊基幹集落センター／湊公民館
令和4年度	9	44	13,290	会津大学／アピオスペース／大戸小学校体育館／ 河東農村環境改善センター／北会津農村環境改善センター／ 鶴ヶ城体育館／ホテルニューパレス／湊基幹集落センター／湊公民館
令和5年度	4	7	770	会津若松医師会館／会津若松市役所追手町第二庁舎／大戸小学校体育館／ 湊基幹集落センター
合計	延べ24	139	65,205	公共施設：12 施設 民間施設：3 施設

- ・施設接種 延べ接種施設数：48 施設
総接種回数：12,115 回
- ・巡回接種 総接種回数：28 回
- ・その他 国・県による大規模集団接種
市外医療機関による施設接種

集団接種会場（鶴ヶ城体育館）



■主な課題とその対応

①ワクチン供給

国からのワクチン供給量や供給時期は、流動的であることが多く、特に、初回接種の開始当初（令和3年3月～7月）などは、市の要求量よりも供給量が少ない状況が続いたため、接種体制の継続が難しく、一時的に予約枠を調整する（実施医療機関縮小）ことがあった。このため、国・県へ安定供給の要望を実施しながら、県ワクチンバンクを活用するとともに接種希望者を事前登録（※）することにより余剰ワクチンを有効活用した。

※事前登録した市民289人に対し、当日キャンセル等により発生した余剰ワクチンを接種（令和3年9～10月）

②予約体制

初回接種の開始当初、コールセンターへの予約電話が集中し、予約が取りにくい状態となった。接種希望者に迅速に対応するため次の取組を実施し円滑な予約受付体制を確保した。

○コールセンターにおけるオペレーター席数の増席（最大25席体制）及び開設日拡大（土日祝日の実施）

○オンライン予約の導入（24時間対応可能）

○公共施設等を活用した予約サポート窓口の設置

・3回目接種（計25日間、4市民センター（北・南・東・一箕）及びスマートシティA i c t）

・4回目接種（計6日間、4市民センター（北・南・東・一箕）及び會津稽古堂）

○接種券分散発送

○予約受付時期の分散

○全庁各窓口での予約サポート体制（令和3年5月～）

○予約お助け隊

高齢者向けワクチンの広報車による情報発信及び地域巡回予約補助



令和3年7月9日 医師会、歯科医師会、薬剤師会共同記者会見

③接種体制

国の方針決定後、接種開始までの準備期間が短く、また、接種内容（接種間隔など）の変更が示されることがあったため、その都度接種体制を再構築しながら対応した。

【主な国方針】

- ・令和3年4月23日 接種を希望する高齢者全員が7月末までに2回接種
- ・令和3年5月7日 1日100万回接種可能な体制を構築（11月末までの希望者全員の接種完了）
- ・令和4年7月26日 若年層の接種機会の確保（3回目接種）
- ・令和4年9月14日 オミクロン株対応ワクチンの年内接種完了
- ・令和5年3月24日 集団接種を積極的に活用した体制から個別医療機関を中心とする体制への移行

【主な対応】

医療機関での個別接種を基本としつつ、土・日曜においては集団接種を実施することにより、多くの接種を可能とする体制を構築するとともに、施設接種や巡回接種、さらには先行接種や優先接種（12～17歳を優先とした集団接種や、夏休み期間の個別医療機関における専用枠の設定など）を行った。また、市内外で実施される職域接種による接種を希望する市民に対し、接種券の早期発行を行うとともに、県大規模接種等の情報を周知するなど、多様な接種機会の確保を図った。

【先行（優先）接種の内容】

- ・医療従事者 約6,500人
- ・高齢者施設等従事者 約3,000人
（高齢者施設、障がい者施設、児童福祉施設、教育保育施設、小中学校教員等）
- ・妊婦等 132人、受験生等 4人

（ア）個別接種

会津若松医師会と協議を重ねながら、市内医療機関の協力により接種体制を構築した。

また、ワクチンの種類は複数あったため、接種回ごとに医療機関へ使用するワクチンや対応の可否などの意向調査を行いながら、接種医療機関を決定し、接種に対応した。

小児接種や乳幼児接種においては、小児科医療機関等の協力を得ながら実施するとともに、保護者等への丁寧な周知に努めた。



接種の様子
（佐藤内科小児科医院）

(イ) 集団接種

年度	主な内容
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・会津若松医師会等の協力の下、土日を中心に集団接種を実施。また、国方針を踏まえた接種体制強化の一環として、接種医師の増員（会津若松医師会協力）や薬剤師によるワクチン充填（会津薬剤師会協力）等を行った。 ・集団接種開始当初は、市直営で運営し、週ごとに会場が異なっていたが、10月以降、会場運営の一部を業務委託するとともに、会場を固定（旧会津学鳳高校体育館等）することにより、接種を受けやすい体制を構築した。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・国の接種前倒し方針を踏まえた年内接種を完了するため、医療従事者を含めた会場運営全てを一括で委託する包括委託を実施し、集団接種実施回数を増やすことでより多くの接種機会の確保を図った。（一部委託（会津若松医師会連携型）24回、包括委託20回） ・4地区（湊・大戸・北会津・河東）については、意向調査を踏まえ、希望者へ日時等を指定し実施。約3,000人。
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・国方針（集団接種の縮小・廃止）を踏まえ、実施体制の見直しを行うとともに、地域性（医療機関の利便性等）への考慮及び多様な接種機会を確保する観点から、2地区（湊・大戸の計4日）及び夜間接種（計3日）を実施した。

④ワクチン接種記録

国ワクチン接種記録システム（VRS）を活用し、接種券の発行、対象者への適切な接種及び接種履歴を管理するとともに、希望者に対し迅速に接種証明書（書面・電子・コンビニ端末等）を発行できる体制を整備した。なお、令和3年6月、国より接種記録に応じたワクチンの追加配分の方針が示されたため、VRS読取業務を委託するなどの体制強化を図った。

⑤接種勧奨

初回接種開始当初から若年層の接種率が低い傾向にあったため、国方針を踏まえ、市政だよりやホームページ、SNS等の各種媒体を活用するとともに、集団接種での優先枠を設けるなどの接種勧奨及び接種機会の確保を図った。

⑥副反応への対応

接種券送付時や接種時に副反応の内容について事前に説明するとともに、接種後に副反応が発生した際は、医療機関と連携し、迅速かつ適切に対応した。また、相談の際は、受診医療機関や健康被害救済制度を案内するなど丁寧な対応に努めた。